

甲斐市教育委員会第9回定例会議事録

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 26 日 (火) 午後 1 時 30 分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館 2 階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午後 1 時 30 分
- 4 出席者 【教育長】 西山豊教育長
【委 員】 新海宏子職務代理者 柳本博美委員
中込正久委員 長田明美委員
【説明員】 生山勝教育部長 樋口充教育総務課長
内藤和彦学校教育課長 土屋達巳生涯学習文化課長
梅原剛スポーツ振興課長 保坂和也図書館長
坂本公彦学校教育指導監 高野悦夫学事係長
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 名取藤吾教育総務係長 河野晴美教育総務係員
- 7 前回議事録の承認 平成 29 年度 第 8 回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題
第 1 号 平成 29 年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について
第 2 号 学校閉庁日の設定について
- 10 その他
(1) 平成 29 年度末 (県費教職員) 人事異動の予定について
(2) 平成 29 年 12 月甲斐市定例議会教育委員会関係代表・一般質問について
(3) 甲斐市竜王中部公園セミナーハウス関係例規の制定について
(4) 平成 30 年成人式について
(5) 甲斐市小中学校音楽祭について
(6) 元旦ラジオ体操について
(7) 平成 29 年度甲斐市立図書館要覧について
(8) 1 月の行事予定について
- 11 閉 会 午後 3 時 15 分

○開 会

事務局 開会を宣する。

○あいさつ

委員

こんにちは。

新聞紙上では、相変わらずいじめによる自殺という記事が目につきます。第三者委員会が作られ、その中で、学校はアンケート等でいじめを把握していながらそれについての対応に非常に問題がある、また、学校現場としては解決したという判断の中でその後のケアについて、または調査については安心感が出てしまっていたという指摘内容がありました。まだ根の部分では解決できていないということで自殺までに至ったという経過があり、学校現場ではいじめについては非常に敏感になっているのだけど、その敏感さがその後の指導にどのように活かされているのかというところに非常に大きな問題があると感じています。今日の新聞にもいじめでの自殺ということがまた出てきているということで心配な部分があるのですが、学校現場でどのようにいじめに対応していくかということについては、子どもたちの命を預かっているということを強く自覚していく必要があると感じています。

もう一つ、最近新聞に掲載されていた記事の中で、保護司だった方が亡くなって感謝状をいただいた奥さんが文面について新聞に投稿し、その結果、感謝状の文面を変えるという報道がありました。その内容については「犯罪者の更生に尽力」とか「地域社会の浄化に尽力」とか、いただいた方にすると感謝、感激するような言葉ではないということでした。法務局では次回からは「犯罪者」は「罪を犯した人」に変えるとか、「明るい地域社会を実現するために貢献した」とか柔らかい言葉にしていくということで、いただいた方が内容について理解できるような文面に変えていくということでした。

いじめの問題と感謝状の問題は共通点が無いようですが、いじめられている相手である被害者の立場と、感謝状をもらう立場を考えるという、そのものの立場になるという共通点があります。単にそれをやったということだけで済ましてしまうと価値が全く無くなってしまふ、いじめを無くすためにも、いじめられている立場になって深く考えていかないと解決できない、感謝状も受け取った方に感謝の意が伝わるような文面でないということ受手の問題としてとらえていく必要があると感じます。高いところからの目線ではなく、立場に立ったところからスタートしていくことで、そういうものが解決していくし、楽しく明るく豊かな

生活になっていくのかなと感じながら記事を読みました。相手の立場を理解した中で我々もやっていかなければならないし、非常に共通した部分があり考えさせられる部分があったということでお話させていただきました。

これからもこの立場にいる以上、この立場を考えながら行動、言動について注意を払っていく必要があるということであいさつに代えさせていただきます。

○教育長報告

教育長

今月もお忙しいところ、ご参会いただきまして有難うございます。

12月の諸報告をさせていただきます。1ページをご参照いただきたいと思います。主なものにつきましてご報告申し上げます。

まず2日、3日は県一周駅伝大会と、山梨クインビーズと新潟アルビレックスとの試合が塩山体育館で行われました。2日は第4中継所の勝沼ハーブ園で、甲斐市駅伝A・Bチームの応援をして、塩山体育館に向かいました。クインビーズは初勝利に向けて熱が入っていました。後援会長の市長以下たくさんの声援もあって、76対65で見事初勝利を獲得しました。3日は双葉支所で駅伝を支える双葉消防団のみなさんにあいさつをして、山梨交通の敷島バス停で教育委員さんと一緒に甲斐市の選手に激励と声援をおくりました。Aチームは前日1位で終えており、2日目も快走しているとの情報でしたので優勝を期待しました。結果は、Aチームは悲願の初優勝、Bチームは10位という素晴らしい快挙でした。選手のみなさん、スタッフのみなさんお疲れ様でした。駅伝の応援を終え、すぐに塩山体育館に向かいました。第2クォーターが終わったところで、42対40の接戦でした。第4クォーター終了時点で60対60の同点で5分間の延長戦に入りました。汗握る接戦の末、69対64で見事連勝しました。素晴らしかったです。

4日には早速県一周駅伝で優勝した甲斐市駅伝チームのスタッフの方々が、優勝報告のため来庁しました。喜びに満ちたみなさんに市長はじめ教育委員会としてもその健闘を称えました。

5日には、市議会の12月定例会が開会され、報告案件、補正予算など一般議案などが提案されました。これらの案件につきましては、6日から7日に開催されました各常任委員会での審議を経まして、14日の本会

議で可決されております。

また、代表質問は、11日と12日に行われ、一般質問は、12日、13日、14日に行われました。教育委員会に関するものにつきまして、後ほど部長の方からご報告いたします。

6日の夜には、市PTA連絡協議会の情報交換会が行われました。この会の目的は各単位PTAの特色ある行事や活動、PTA新聞などをお互いに発表しあい、今後の活動に活かそうというものです。運動会の保護者の場所取りの報告や、学校行事への協力、コミュニティースクールへの取り組みなど沢山の報告・意見が出され、大変有効な話し合いの場となりました。また今回は会の初めに、県産婦人科医会会長・竜王レディースクリニック院長、甲斐市版ネウボラ事業推進協議会会長の森澤孝行氏の講演会が行われました。講演会のテーマは「子どもたちへの性教育について～医療現場から見えてくるもの～」でした。

7日10時より、平成29年度末人事異動説明会が中巨摩教育会館で行われました。中北教育事務所長の話の後、管理主事より転退希望調の作成や今後の人事異動作業日程などについて説明がありました。1月に入ると慌ただしくなりそうです。

9日は東京大田区体育館で行われたクインビーズの応援と、その会場近くで行われた甲斐市県人会の懇親会に参加しました。対戦相手の東京羽田ビッキーズとは、接戦の末、79対77の2点差で敗れてしまいました。悔しかったです。

16日午後5時から、甲斐北ライオンズクリスマス例会に参加しました。他人の子もほめて叱る運動などを展開し、青少年の健全育成に取り組んで頂いたり、社会福祉協議会に寄附を頂いたり、その活動に感謝いたしました。甲斐混声合唱団の演奏やカラオケの歌声に楽しいひと時を過ごしました。

19日10時には、第3回保健福祉推進協議会が北部公民館で開かれました。福祉部と子育て健康部の各計画策定についてなどの話し合いでした。

20日10時半には、峡中広域シルバー人材センターの関係者が来庁し、「交通安全・横断旗」を寄贈していただきました。シルバー人材センターが行っております「コスモス花見会」の売上金を、児童の教育活動への一環にということで、集団登校などで児童や保護者が持つ横断旗として寄附していただいているものです。平成22年度から続いておりまして、

9回目となりますが、今回は38本頂きました。順次、各小学校へ配布いたします。

25日、26日の午前には、甲斐市の管理職採用受検者の面接指導を行いました。昨年度から甲斐市の校長会と協力して行なっております。各受検者とも努力の姿が見られました。一人でも多く希望がかなうよう願っています。

25日午後1時半から、甲府地区広域事務組合の議会に出席しました。議会終了後教育委員会が行われました。

本日26日に第9回定例教育委員会が行われております。

主なところは以上であります。今年も残すところ5日ほどとなりました。委員の皆様方には、色々な面でお力添えをいただきまして、改めて感謝申し上げます。私からの報告とさせていただきます。ありがとうございました。

教育長

議題の審議に入ります前に、議題第1号「平成29年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について」は、個人情報に関する事項が含まれます。したがって、甲斐市教育委員会会議規則第15条の規定により、議題第1号を非公開とすることについてお諮りします。

非公開とすることにご異議はございませんか。

一同

異議なし。

教育長

ご異議がありませんので議題第1号は非公開といたします。

【ここから非公開】

○議題

第1号 平成29年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について

教育長

1号議案は、これで終了いたします。

非公開とした議題第1号「平成29年度要保護・準要保護、児童生徒の認定について」の審議が終わりましたので、これより公開とします。

【ここから公開】

第2号 学校閉庁日の設定について

事務局

(資料説明)

委員

出張や部活動でお休みできなかった先生について、違う日に振り替えるということではないですね。

事務局

そういうことではないです。あくまでも定期的に配置する日直は置きませんということで、年休を消化してくださいということです。

これまでも8月13日に県の研修会が入っていた事例がありますが、そういう場合は研修に参加していただいて、別の日に年休を消化してくださいということになります。

委員

この文書の配布先は保護者だけですか。地域には配布されないですか。地域にも周知した方がいいと思いますが。

事務局

先進事例をみますと、市のホームページとか学校のホームページには掲載しているようですが、地域の回覧板等での周知も検討します。

委員

広報にも掲載するといいですね。

委員

法的なものの改正とか、規則の変更とかはどうですか。

事務局

勤務を要しない日にするわけではないので、特に必要はないと考えます。

教育長

その他、ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

なければ原案のとおり承認してよろしいですか。

一同

異議なし。

○その他

(1) 平成29年度末(県費教職員)人事異動の予定について

事務局

(資料説明)

教育長

ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同

異議なし。

(2) 平成29年12月甲斐市定例議会教育委員会関係代表・一般質問について

事務局

(資料説明)

委員

文化芸術推進基本条例についてですが、制定した自治体では成果が出ているのでしょうか。成果があるのであれば策定する必要がありますがどうでしょうか。

事務局

条例があればそれに基づいて施策も進めやすいのではないかという中

での質問です。実際に条例を作ってそれに伴って明確にこれが変わったということはなかなかわかりづらい部分があります。ただ議員さんは条例を作ることによって市としても積極的に推進することができるのではないかと、一つの契機として条例化をという質問です。条例を作ったからといって目に見えてということはなかなか難しいと思います。

委員 ニーズがあって下から盛り上がってということが無いと難しいですね。

全般的に言えることは、ニーズがあるのかということです。

事務局 市民ニーズというと、文化協会等の中で盛り上がって、必要だということになればということになります。もう一つは何かのきっかけがあつてということがあります。国文祭の時に、県で条例を作れば何らかの動きが市町村にも出てきたと思いますが、県で作らなかったのも何かの理由があつたと思います。

委員 スポーツ少年団の加入する子どもが少ないということがありますが、加入していないけど個人としてやっている競技があります。そういうことを調べたうえで子どもたちのスポーツ人口がどうなのかということが見えてくるといいです。スポーツ少年団に加入している状況から年々減っているという数値だけで考えるのではなくて、全体的にどうなのかということですよ。個人でしている子ども多いと思います。

委員 体力がすごく落ちているということなら問題ですが、少子化の問題もある、また、スポ少は親にも負担がありますよね。

委員 家庭にもいろいろな事情があります。単なる数値だけでみているとそこには解決策も何もなくて実態が見えてこないということになります。

委員 合唱にしても、下からニーズがあつてということが大事なことだと思います。全体の中での態勢、家庭での態勢が出来なければスポ少に入つてとも言えません。議員にも地域にこういうニーズがあるということを書いて頂ければありがたいと思います。

委員 閉鎖されるコスモス教室に代わってオークルームを充実させていくということで、31年度より対応とありますが、オークルームの態勢とか内容とかをコスモス教室に代わるようなものに変えていくという方向でいいのですか。

事務局 現在は葦崎のコスモス教室に中学生が通っています。甲斐市のオークルームは小学校5、6年生が対象となっているので、どんなかたちで持

ってくるのかということがあります。また地元だとなかなか行きづらいということで、葦崎だから行けるということも伺っています。

委員

国として不登校に対しての解消に向けての対策的なもの、方向性といったものは全く見えてきません。例えば地域で作れば補助金を出すとか、何かなければ人材も施設も確保できません。ただ任せます、交付税に入っていますでは、国が本腰を入れてやっているのかと思います。いじめについては人格否定とか問題化していますが、不登校に対しての取り組みが国には全くない、地方に任せていすぎるのではないかと思います。それに対して文科省がどれくらい支援しているとか、文科省以外の省庁が目を向けているのか、不登校に対しては冷たい施策ではないかなと思っています。いつになっても改善しないですよ。

委員

先ほどの文化財もそうですけど、国が認定すれば補助が出るということが多いです。

教育長

今回の適応教室は、県の外部評価の結果から出たことです。甲斐市はオークルームがあったからいいですけど何も無い市町村は困っていると思います。

委員

外部評価の結果ということからいうと、人的な措置と通う子どもの関係で効果があまりなかったということです。市町村で連携して地元の教室ではなく近隣の市町村に通うというネットワークが必要ではないでしょうか。

教育長

地元へ通っている子どももいますよね。

事務局

オークルームに通っている子どもは、敷島はいないですけど、竜王と双葉には通っている子どもがいます。

事務局

小学校 5 年生から通えるのですが、現在通っているのは中学生です。

事務局

県議会でも質問がありまして、守屋教育長が、市町村単独での設置が厳しいのであれば広域的な連携を考えていきたいと言っていました。

委員

県がもっと明確に指導力を発揮するべきだと思います。

コスモス教室に代わるものをどうするのかを見せずに、市町村に任せるといような施策でいいのでしょうか。

市でも財政を切り詰めながらたくさんの支援員を確保して取り組んでいることが全く認められていないように感じます。国も県も成果を見せられるところだけお金を使って、一番大事なところを市町村に任せてしまっているようで、特に教育関係にはそういう感覚があります。

委員 一番困るのは市町村ですからね。市町村はどうしても対応しなければなりませんから。

委員 それで一番困っているのは現場ですからね。

教育長 根本的に補助金を出したり支援をしたりしても 3 年くらいは続くけど後は市町村でしなさいということになります。

事務局 菫崎の閉鎖が平成 30 年度末ということですが、今のところの受け入れ態勢では大きな制度の変更は必要ないと考えています。双葉と敷島の行き来はいいですよというようなことぐらいでいいのかと思います。が、将来的に市町村をまたぐというようなことになると、何かしらの対策が必要となりますし、現状でも指導員の確保が難しくなっている状況がありますのでそこが大きな課題になると思います。

事務局 この件につきましては、県内の市長も問題であるということで、市長会としても知事に申し入れをするということになるかもしれないということですが。

委員 県にただ単に代わる施設がこうだから補助金をなどと言っても説得力が無いですから、十分に検討すべきことだと思います。

これは大変大きな問題ですよ。

事務局 不登校からひきこもりにつながってしまいますよね。

教育長 O B の先生たちが支援してくれているから、甲斐市のオークルームは成り立っています。大きなことですよ。

どれくらい的人数が地元では対応できないか、年によって違うし、どうなるのかはわかりませんが、対応していかなければなりません。

委員 そういう実態を明確にするためにも聞き取りをして、資料を持っているということは大事だと思います。そうすると説得力もあります。

教育長 他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

(3) 甲斐市竜王中部公園セミナーハウス関係例規の制定について

事務局 (資料説明)

委員 コーディネーターは非常に重要なポジションですが、何か社会的な資格とか経験とか条件がありますか。

事務局 公民館に配置していましたが社会教育指導員と同じ立場で、セミナーハウスは公民館ではないのでコーディネーターというかたちで設置すると

ということになります。することは社会教育指導員と変わらなくて、資格等は問いません。

委員 要綱に、「社会教育または学校教育に関する知識及び経験を有する」という条件があるので、これにマッチしていなければなりませんよね。

経験重視をするのか資格重視をするのかということも出てきます。例えば社会教育主事という資格がありますが、そういうものを重視するのかということです。

教育長 公民館にいた社会教育指導員と同じでコーディネートしていくということですね。

事務局 教養講座の企画などをします。

教育長 他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

(4) 平成 30 年成人式について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

(5) 甲斐市小中学校音楽祭について

事務局 (資料説明)

委員 今年の 6 月に小中学校音楽祭で、小学校と中学校で一緒に何かできないかということで合同練習会を実験的にしていただきました。実際にしてみると練習時間の確保とか、特に吹奏楽部に関してはどちらかの学校へ移動しなければならず、子どもたちは保護者のご協力をいただいたのですが、楽器についてはトラックが必要で費用が発生してしまい実現できなくて残念でした。しかし、子どもたちがそうやって交流するという意味ではとてもいい試みだと思うので、今後実現できるように、あと押しできればと思っています。

教育長 下からの盛り上がりが大切だと思います。

他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

(6) 元旦ラジオ体操について

事務局
教育長
一 同

(資料説明)
ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
異議なし。

(7) 平成 29 年度甲斐市立図書館要覧について

事務局
委 員

(資料説明)
関連ということでご報告ですが、先日、敷島図書館のクリスマス会に参加させていただいて、館長にもサンタクロースに扮して登場していただき大変好評でした。年々感じるのが、絵本のお話を聞こうという姿勢で参加する子どもたちが増えています。どうしても人が大勢集まるとざわざわしてしまい、子どもたちを集中させるのに最初の頃は苦労していたのですが、今年は静かにしてという言葉は一切なく子どもたちの聞こうという姿勢がうれしいなと思いました。

あるお母さんから次のような感想を聞きました。絵本の中で、早く走ったということを「ピストルの弾のように早く走った」という表現がありました。ただ早く走ったよりもピストルの弾のようにというところで、すごく速いんだなということが子どもの印象に残ったということで、本をたくさん読むことで表現力が豊かになり、いろいろな言葉を子どもが知る機会になるのでありがたいですということをおっしゃいました。

いろいろなものがデジタル化されたり、道具を使って本を読めたりする時代ではあるけれど、文字を目にするとかいろいろな表現を知ることが子どもたちの表現力を育てたり、語彙を増やすという意味でとても大事なことだと改めて感じ、図書館が長く続いて子どもたちやいろいろな方に本が手元に届くような活動が出来ればよいなと思いました。

教育長
一 同

他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
異議なし。

(8) 1月の行事予定について

事務局
教育長
一 同

(資料説明)
ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
異議なし。

事務局 ・ 来年度採用昇任の管理職の登用に関して現在の状況の説明
事務局 ・ 来年度採用昇任の管理職の登用に関して近年の状況の説明

事務局 ・ 山梨県一周駅伝競走大会の結果について報告

事務局 ・ 市内小中学校の公開研究会について

事務局 議員さんから公開研究会は議会の議員も参加できるかという質問がありました。それに対して、今後、公開研究会がある時には、全員の議員さんに案内を出します、甲斐市の学校の授業、生徒・児童の様子を見ていただきたいと答えました。来月行われる3校から案内を出しましたので、大勢の議員さんが行かれると思います。よろしくお願いします。

○閉 会

事務局 本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間 午後3時15分